

「かけがえのない命」を「救えなかった命」にしたいくない！

心を揺らしながら 目の前の「命」と向き合ってきた 保育者たちが伝えたいこと

主催・一般財団法人東京保健会
後援・新医協

幼い命が虐待によって奪われる痛ましい事件が後を絶ちません。虐待の背景には貧困や病気など、家族が抱える困難もあります。保育園は親子で登園するので、日常の姿や変化など虐待が見えやすい場所ですが、保育園だけで抱え込むのではなく、関係機関につなぐことで、家庭に支援が入ることになります。また、自分を責めながら生活している保護者も少なくありません。

19年にわたって保育園の事例を検討し、保育園で出来る虐待の対応の基本をまとめました。保育者、保護者、福祉関係者、保健師、医療関係者と共有し、子どもの命を守ることができるよう学び合いましょう。★先着 80 名で〆切

はなし：**由井 和子**・保育と虐待対応事例研究会事務局長
+事務局メンバー

とき：**2019年 11/20 水**
18:30~21:00

ところ：**北とぴあ 第1研修室**
東京都北区王子 1-11-1 (JR 王子駅より徒歩 2分)

会費：**無料**

申込：「氏名」「連絡先 (Tel または e-mail)」を
明記の上、下記 Fax か e-mail までお申込みください。

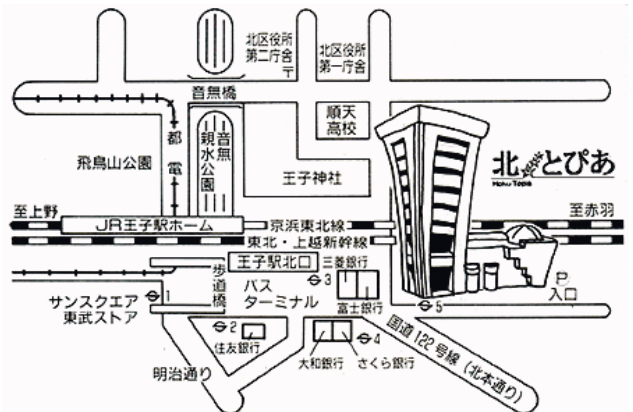
※折り返し受講番号をお知らせしますので電話番号か e-mail アドレスを必ずご明記ください。

Fax 03-3983-6165 E-mail honbu@shinikyoo.com

Tel 03-3988-8387 新医協 (新日本医師協会) 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-2 日高ビル 405

●保育と虐待対応事例研究会とは

保育園で働く保育者を中心に 2001 年 1 月に発足。「虐待への気づき」「被虐待児の保護者への援助方法」「通告と関係機関との連携」の 3 点をテーマに掲げ、現場で起こっている事例をもとに現場での対応方法を検討する毎月の例会と公開講座やセミナーなどを開催している。



●講演会申込書 2019.11.20 心を揺らしながら目の前の「命」と向き合ってきた保育者たちが伝えたいこと

氏名：

職種：

折り返し用 Tel または e-mail：

意見・質問：